

NEXCO西日本 新名神 大津だより

INFORMATION

01

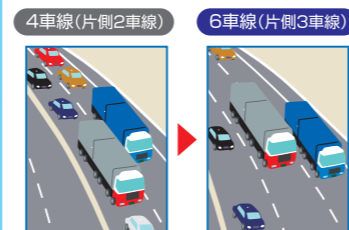
◆新名神高速道路における6車線化事業の整備効果



1 物流の効率化による生産性の向上

課題 新名神高速道路は開通以降、大型車の交通量が増加傾向にあります。また、交通の集中に伴う渋滞も増加傾向がみられます。

効果 6車線化によって、低速度の大型車と高速度の普通車の混在による速度低下や事故リスクを低減し、物流の効率化に寄与することができ、生産性の向上が見込まれます。



2 ネットワークの代替性強化による安定的な交通の確保

課題 名神高速道路は降雪・地震などの災害リスクポイントを抱えています。特に、琵琶湖西岸断層帯などの近隣地域では、地震発生時の機能停止が懸念されます。

効果 6車線化により、名神高速道路とのダブルネットワークの安定性が向上します。これによって、降雪や地震等の災害発生時に名神高速道路が通行止めとなった場合においても、新名神高速道路を代替路として利用することができ、安定的な交通を確保することができます。



3 名神リニューアル工事実施時における円滑な交通の確保

課題 名神高速道路は開通から50年以上が経過しており、今後リニューアル工事が本格化していきます。米原JCT～草津JCT間のリニューアル工事においては、主なう回路が新名神高速道路となります。

効果 名神高速道路のリニューアル工事実施時に、う回車両により新名神高速道路の交通量が増加した場合でも、6車線化によって渋滞の発生を抑制し、名神高速道路を軸とした円滑な交通を確保できます。



◆事業概要

新名神高速道路は名神高速道路と交通機能を適切に分担することで、名神の混雑を解消し、高速道路ネットワークに求められる「高速性」「快適性」「安全性」「定時性」「信頼性」などの機能を高めるとともに、我が国の産業・文化・社会経済活動の振興に寄与することを目指しています。NEXCO西日本新名神大津事務所では、新名神高速道路(大津～城陽間)建設の滋賀県域: 12.2 km及び甲賀土山～大津間の6車線化事業(28.5km)を担当しています。



◆新名神高速道路(大津～城陽間)滋賀県域: 12.2kmの進捗状況

新名神(滋賀県域の新設区間)では、用地取得はほぼ完了し、埋蔵文化財調査は、90%以上が完了しています。工事は、全ての工事用道路工事を施工中で、本線工事についても、三学区全てにおいて施工中です。大津市南部の自治会で構成される大津市南部三学区新名神対策協議会においても、早期着手気運醸成があり、安全に留意し、早期開通を目指して、行政・地域の皆さまと一体となって事業を進めています。また、地域の皆さまとの交流を図るために地域イベントに積極的に参加し、高速道路事業のPR活動を行っています。

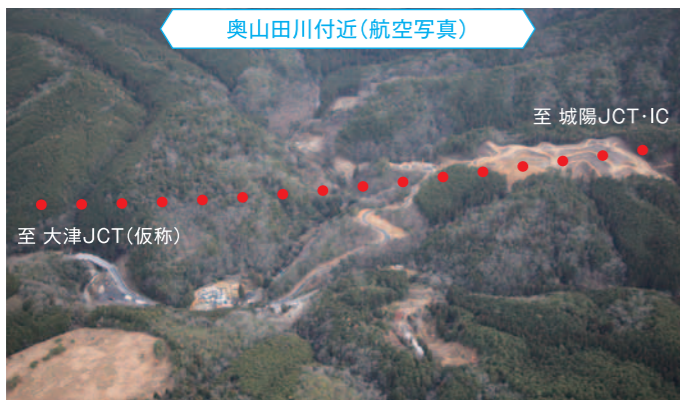
◆各地区の進捗状況(令和2年3月1日現在)

完了 実施中 実施予定

区間	進捗率 (%)	大津JCT～滋賀県域(12.2km)											
		大津大石工事区(5.8km)				大津田上工事区(3.9km)				大津上田上工事区(2.5km)			
学区名		大石学区(6.4km)				田上学区(3.3km)				上田上学区(2.5km)			
自治会名 (km)		小田原町 2.1km	龍門町 2.4km	中町 0.4km	東町 1.5km	関津 1.0km	里 0.3km	枝町 0.7km	森町 0.5km	羽栗 0.8km	新免 0.4km	中野町 0.9km	牧町 1.2km
用地取得のための協議	設計協議	100	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
	幅杭設置	100	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
用地取得	99	100	100	100	95	100	100	100	100	100	100	100	100
埋蔵文化財調査	-	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
工事着手	本線	56	◇	◇	◇			◇	◇			◇	◇
	工事用道路	-	◇	◇	◇	-	◇	◇	◇	-	-	◇	◇

☑ 6車線のこと、初めて知りました。今後どのようになるのかとても楽しみです。がんばって下さい。(64歳・男性)

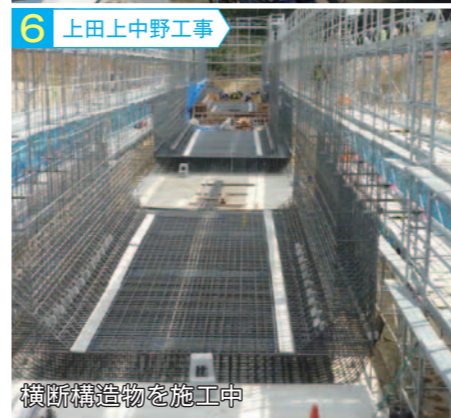
読者様からのメッセージ ☑ 「しんめちゃん」というキャラクターがあるのを初めて知りました。かわいい!(38歳・女性)



工事の状況



※この図は、航空写真・図面等により作成したイメージです。完成と異なることもあります。



☑ 冬号表紙の本当に美しいシャンパンクーラーにほれほれとしました。砲の種類も見事です。(58歳・女性)

☑ 工事の状況などがわかり、道路はこのようにしてできるんだと、子どもにも教えてあげたいと思いました。(35歳・女性)

「第45回田上山卒業記念植樹」に参加

令和元年11月20日(水)に田上山砂防協会が主催する「第45回田上山卒業記念植樹」が大津市田上で開催されました。NEXCO西日本からは花の苗を提供し、上田上小学校、田上小学校、大石小学校の6年生の皆様と一緒に桜を植樹しました。



地元小学生によるどんぐり拾いイベント

NEXCO西日本では、環境方針である自然と共生する社会の推進に基づいた景観・環境に配慮した道づくりに取り組んでいます。

令和元年11月27日(水)、高速道路のり面に植樹する苗木の種子(どんぐり)を建設中の新名神高速道路近郊の公園において採取する、どんぐり拾いのイベントを地元上田上小学校、田上小学校、大石小学校の生徒たちと行いました。採取したどんぐりは、NEXCO西日本が苗木に育成し、地域に調和した道路緑化に活用します。



「滋賀県域自然環境保全検討会(第8回)」の開催

令和元年12月25日(水)、滋賀県域自然環境保全検討会(第8回)を開催しました。これは、動植物の生息・生育環境に配慮した建設工事を行うため、環境保全対策を検討・実施しているものです。本検討会において、高速道路周辺の生物の移動に配慮した横断構造物の構造や、河川に生息する水生生物に配慮した護岸形状等について検討いたしました。



生物多様性を守るNEXCOの地域性苗木

地域性苗木は、地域に自生している樹木の種子から育てた苗木です。

NEXCO東日本・NEXCO中日本・NEXCO西日本では、高速道路建設予定地周辺に自生している樹木の種子を、地域の方々と採取して苗木を育て、その地域の高速道路に植栽しています。市場に流通していない種類の樹木も生産することが可能で、移入種による遺伝子のかく乱を防ぎ、生物の多様性を守ることができます。

当事務所においても、小学生によるどんぐり拾いイベント等を通じて高速道路周辺地域から種子を採取し、郷土の生態系に配慮した緑化を進めていきます。

